

平成29年度

# 経営発達支援計画報告書

下記の通りⅠ．経営発達支援事業の内容について6項目、Ⅱ．地域経済の活性化に資する取り組みについて1項目、Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組みについての3項目について報告いたします。

評価方法は、昨年度中小企業庁より示された以下の基準とする。

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%～99%)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)

評価者は、評価委員7名。

○評価内容に記載してある下記表上段は、A・B・C・D上記の内容に基づくもの。下段は、評価者7名の内、該当する評価を何人行ったかの人数を記載しております。

A	B	C	D

○目標の評価については、全ての委員が同じ評価の場合はアルファベットのみ記載、意見が分かれている場合は、人数も含めて記載しております。

参考：平成27年度評価方法

事業初年度にあたり、下記の通りⅠ．経営発達支援事業の内容について6項目、Ⅱ．地域経済の活性化に資する取り組みについて1項目、Ⅲ．経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組みについての3項目について報告いたします。

評価基準は、

- ・A→ 実施され効果(活用)が見られたもの、もしくは期待できるもの
  - ・B→ 実施されたが効果(活用)が見られないもの、もしくは不明のもの
  - ・C→ 実施されなかったもしくは、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの
- 目標に対しては、達成度合いでの評価とする。

玉造商工会

## 【経営発達支援計画の目標】（平成27年11月認定）

- ①地域環境変化（観光客減少等）に耐えられる「体力のある小規模事業者」を育成支援する。
- ②個性豊かな観光資源を有効活用した観光振興策の推進による交流人口の増加を図る。
- ③地域特産品、伝統工芸品のブランド化を目指した更なる推進と、新たな販路開拓を支援する。
- ④小規模事業者の情報発信及び販売促進支援と、観光資源を活かした商店街の活性化を推進する。

当地域においての生産性向上は、温泉を核とした観光客を増加させることが重要であると言えます。観光客を主体とした交流人口の取込みを図り、温泉商店街の活性化及び歴史的建造物のある岩出山地域商店街の活性化を図るとともに、地域小規模事業者の持続的発展のため、企業体質の強化を図って行くことが商工会の役割と考え、上記の目標を達成するために下記を実施してまいります。

- ①小規模事業者の企業体質の改善を図り、持続的発展を目指した事業計画策定による個別企業の経営力の強化を図る。
  - ・巡回訪問の強化を図り、小規模事業者の経営状況の分析と、地域経済動向等の分析を踏まえた、事業計画の策定及びフォローアップ支援を実施する。
- ②観光客の減少により疲弊している基幹産業を活性化させるため、鳴子温泉物産協会、鳴子温泉旅館組合、鳴子温泉郷観光協会と連携し、「名湯鳴子」の情報発信を行い観光客及び交流人口の増加を図ることで、観光業を取り巻く小規模事業者を活性化させ、鳴子温泉商店街の活性化を図る。
  - ・商工会の情報発信に加えて、各々事業所においても個店及び地域の情報発信を行えるよう、商工会HP及び100万会員ネットワーク等の登録を促し、更に各事業者それぞれが、facebook やブログ、ツイッター等SNSによる情報発信を行う。また各種団体との連携により地域イベントを活用し、事業後継者である青年部・若手女性部員を巻き込んだ事業を実施する。
- ③地域の特産品、伝統工芸などは、地域経済活性化の起爆剤となる可能性を秘めている。鳴子地域の資源「鳴子漆器」「鳴子伝統こけし」を活用し、売れる商品にするべく魅力的な商品開発から販路開拓まで支援を図る。
  - ・三ヶ年計画で取組んできた事業終了後においても販路の拡大が図れるようアンテナショップとなる取扱店を確保し、個別取引では困難な新たな販路開拓に向けて事業の実施を図る。
- ④既存商店の持続的発展を目指した経営計画策定による事業所の経営力強化と、創業者支援による空き店舗対策と合わせて、商店会の空き店舗を活用した事業展開による相乗効果で、地域全体の活性化を図る。
  - ・地域内不動産業者との連携を図り、空き店舗の活用及び個店のリニューアルなど大崎市の補助事業を活用し事業を実施する。更に、大崎市、NPO法人未来産業創造おおさき及び市内商工団体と連携を図り、創業者及び創業希望者に対し、創業スクールの周知及び支援、創業計画の策定支援と策定後のフォローアップを実施する。

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																								
<p>I. 経営発達支援事業の内容</p> <p>1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】</p> <p>地域小規模事業者が今後とも持続的発展を維持していくためには、自社を取り巻く経営環境の変化や地域経済の動きを常に的確に把握する必要がある。そうした環境変化に対応した経営戦略策定を促すため、地域景気動向や業界動向等の地域経済動向に関する必要な情報を定期的かつ継続的に収集・整理し、ホームページや個別相談、巡回訪問時などの様々な機会を活用し小規模事業者に対し広く提供を図る。</p> <p>特に、地域の基幹産業である観光産業に関する情報について、各種観光統計より業界動向や旅行に関するニーズの変化等について把握し、観光振興策の提案や観光関連事業者の商品開発、サービス提供、販路開拓等の立案に活用する。</p> <p>また、これらの情報の活用方法を提案することにより、小規模事業者の経営課題の明確化が図られると共に、経営計画策定など小規模事業者支援の基礎資料として活用する。</p> <p>(事業内容)</p> <p>(1)宮城県商工会連合会が毎年四半期ごとに実施している中小企業景況調査、全国連が毎月提供している景気動向調査等の結果を活用し、県内及び国内の中小・小規模事業者の業種毎の景気動向を把握し、他地域と本地域との比較などを行う基礎資料とする。特に、地域内サービス業(2事業所)・小売業・旅館業の4事業所(以降計画的に拡大)を対象に景気動向調査を毎月継続して行い、独自に集計し全国との比較資料とする。さらに、経営指導員等の巡回訪問・窓口相談、事業計画策定セミナー等各種講習会の開催を通じて、売上動向、採算性、資金繰り等の地域内小規模事業者の業界動向等の情報を収集する。</p> <p>(2)日本政策金融公庫ディスクロージャー及び地域内金融機関の大崎市中企業振興資金融資に対する推薦の毎月貸付件数、貸付額、用途等を調査分析し現況を捉える。情報を蓄積し地域の経済動向の把握と、設備投資状況など地域内小規模事業者等の景気動向を把握する。</p> <p>(3)大崎市、地域内金融機関及び不動産業者による「金融対策及び商店街振興による懇談会」を開催し、数字では読み取れない定性的な経済動向</p>	<p>1. 地域の経済動向調査に関すること (担当：高橋)</p> <p>(1)地域内サービス業(2事業所)・小売業・旅館業の4事業所を対象に、景気動向調査を毎月継続し、全国との比較資料を半年枚毎に作成(前期分は作成済)</p> <p>木地漆器業5事業所、小売業12事業所、料理飲食業9事業所、旅館・ホテル9事業所の合計35事業所を対象に、景気動向調査を4半期毎に実施。</p> <p>(2)日本政策金融公庫での協議会において地域の経済動向の把握と、設備投資状況など地域内小規模事業者等の景気動向を把握した。</p>	<p>(1)中小企業景況調査、景気動向調査の景気情報を天気図に反映させ、巡回等で、4半期ごとに会員事業所に周知。</p> <p>景気調査結果(H28.3～H29.8月)をホームページで公表したことにより、地域内の景気動向及び同業種の現況について、把握することができ、経営計画作成の市場の動向等の参考となったとの評価を頂いた。</p> <p>(2)資金活用により経費の削減と経営の安定を</p>	<p>1. 地域の経済動向調査に関すること</p> <p>【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)どのようなことが参考になったのか記されているとよいと思います。</li> <li>・(3)どのような経緯で融資に繋がったのか商工会としての支援内容も欲しいところです。</li> <li>・活動状況は計画通りに行われているようであるが、効果に繋がる情報の活用状況については明確ではない点がある。</li> <li>・1.の成果は、調査結果の活用によって事業者への的確な指導がなされ、事業者が「環境変化に対応して経営戦略を策定できるようになったか」であるので、末尾の欄でこの点の評価を付記すべきではないでしょうか。</li> </ul> <p>1-(1)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1123 2181 1198"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>5</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1235 2181 1310"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1347 2181 1422"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td></tr> </table>	A	B	C	D	5	2			A	B	C	D	3	4			A	B	C	D	4	3		
A	B	C	D																								
5	2																										
A	B	C	D																								
3	4																										
A	B	C	D																								
4	3																										

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																												
<p>向及び顧客ニーズを把握分析し、商工会ホームページで発信すると共に、特に資金繰り及び創業に関する融資相談等に提供し活用していく。</p> <p>○活用方法</p> <p>収集した情報は、業種別・地域別・内容別に整理・分析し、会員事業所へ巡回訪問及び個別相談に提供するとともに、小規模事業者に対する経営計画作成等の基礎資料として活用する。特に観光関連に関する情報は、観光関連業者の集客力向上に向けた新たな商品・サービスの提供等観光振興策の立案に活用する。</p> <p>上記により作成した地域内の経済動向調査の結果については、商工会ホームページ等にて公表するが、更に、効果的な活用を図るため、分析内容及び分析方法を専門家の支援をいただきながら小規模事業者が活用しやすい内容や表示方法を検討し情報発信を図る。</p> <p>(目標)</p> <table border="1" data-bbox="73 694 1021 963"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業種別景気動向調査</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>金融機関公表資料からの動向調査</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>懇談会開催回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HP情報提供</td> <td>—</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年2回</td> <td>年2回</td> <td>年2回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	業種別景気動向調査	—	1	1	1	1	1	金融機関公表資料からの動向調査	—	1	1	1	1	1	懇談会開催回数	1	1	1	1	1	1	HP情報提供	—	年1回	年1回	年2回	年2回	年2回	<p>マル経融資推薦数 28 件、10,945 万円、大崎市中心企業振興資金融資推薦数 36 件、22,596 万円の実績。</p> <p>(3) 10.3 金融対策及び商店街振興に関する懇談会を開催し、地域経済・金融動向及び消費者ニーズの把握を行った。</p> <p>平成 29 年度末</p> <table border="1" data-bbox="1055 655 1485 932"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業種別景気動向調査</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>金融機関公表資料からの動向調査</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>懇談会開催回数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HP 情報提供</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	業種別景気動向調査	1	1	金融機関公表資料からの動向調査	1	1	懇談会開催回数	1	1	HP 情報提供	1	1	<p>図ることができた。</p> <p>また、マル経融資推薦数 28 件、目標 20 件に対し 140%となったことから、効果的な周知が図れたものと思われる。</p> <p>・大崎市振興資金は、前年度 44 件に対し 39 件であるが、金額は前年度比 16%増となっている。内、設備資金が前年度 17 件、今年度 4 件であった。</p> <p>(3) 創業に関する融資相談及び実績として 3 事業所が開業となった。</p>	<p>1-(目標)</p> <table border="1" data-bbox="1848 416 2175 794"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業種別景気動向調査</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> <tr> <td>金融機関公表資料からの動向調査</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> <tr> <td>懇談会開催回数</td> <td>A-6 C-1</td> </tr> <tr> <td>HP 情報提供</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	業種別景気動向調査	A-6 B-1	金融機関公表資料からの動向調査	A-6 B-1	懇談会開催回数	A-6 C-1	HP 情報提供	A-6 B-1
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																									
業種別景気動向調査	—	1	1	1	1	1																																																									
金融機関公表資料からの動向調査	—	1	1	1	1	1																																																									
懇談会開催回数	1	1	1	1	1	1																																																									
HP情報提供	—	年1回	年1回	年2回	年2回	年2回																																																									
項目	目標	実績																																																													
業種別景気動向調査	1	1																																																													
金融機関公表資料からの動向調査	1	1																																																													
懇談会開催回数	1	1																																																													
HP 情報提供	1	1																																																													
項目	評価																																																														
業種別景気動向調査	A-6 B-1																																																														
金融機関公表資料からの動向調査	A-6 B-1																																																														
懇談会開催回数	A-6 C-1																																																														
HP 情報提供	A-6 B-1																																																														
<p>平成 27 年度の事業を受け、平成 28 年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画</p> <p>平成 28 年度 ・なし</p>																																																															
<p>平成 29 年度 (1) 景気観測 (D I) 調査を実施し、継続的に地域の動向を図る。</p>																																																															
<p>○課題・問題点</p> <p>景気観測に関するアンケートを期間内に回収し、分析結果を迅速に伝達し、どのようにフィードバックしながら経営改善に繋げていくかが課題である。</p> <p>○改善方法</p> <p>地域景気動向や業界動向等の地域経済動向に関する必要な情報を定期的かつ継続的に収集・整理し、ホームページや個別相談、巡回訪問等の接触機会を増やし、広く提供を図る。</p>																																																															

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価								
<p><b>2. 経営状況の分析に関すること【指針①】</b></p> <p>これまでは不定期の巡回訪問等の際の大まかな実態把握に留まっていたが、今後は個別の経営課題に対応出来るよう、業種毎の経営実態を把握し、ヒアリング等による方法を用い具体的な経営課題解決や経営分析を行う。方法としては、小規模事業者の持続的発展に向け、経営指導員による巡回・窓口相談等を通じて小規模事業者の掘り起こしを広く行うとともに、具体的な経営課題を抱える事業者や希望者を中心に個別の経営分析に繋げる。</p> <p>経営分析の情報は、商工会内部の小規模事業者支援システム（相談指導・記帳指導）を活用し、経営分析や個別の事業計画策定の際の共有データとして管理する。</p> <p>さらに、専門的な経営課題等については、宮城県商工会連合会、宮城県よろず支援拠点等の専門家と連携し、小規模事業者の個々の事業に則して丁寧にサポートするとともに、巡回・窓口相談において継続的にフォローアップする支援体制を構築する。</p> <p>（事業内容）</p> <p>(1) 小規模事業者の経営分析</p> <p>地域内小規模事業者の経営内容を把握し、課題を解決する目的から、巡回訪問の強化のために、巡回訪問計画の作成に基づくサポートを行うことでより多くの地域内小規模事業者の①企業の概要②顧客ニーズ③業界動向④経営課題⑤支援に対する意向等をヒアリングするとともに、小規模事業者からの要望を吸い上げて個別の経営分析を行う。特に基幹産業である観光関連事業所においては、複数人でヒアリングを行うなど、チームによる支援等重点的に行う。宮城県商工会連合会の商工会Webポータルサイト「小規模事業者支援システム（相談指導・記帳指導）」による情報の共有を図り、情報の集積を行うと共に、システム内の景況感の入力を行い、景況天気図を作成する。相談時においては全職員による事業所支援及び情報提供を行う。</p> <p>更に、記帳機械化事業・ネットde記帳を活用している事業所については、貸借対照表や損益計算書、損益分岐点図表など経営分析シス</p>	<p><b>2. 経営状況の分析に関すること</b></p> <p>（担当：遠藤）</p> <p>(1) 巡回訪問時、地域内小規模事業者の①企業の概要②顧客ニーズ③業界動向④経営課題⑤支援に対する意向等について、ヒアリングを実施、個別の経営分析は6事業所を選定し、専門家による分析を行った。</p> <p>内1事業所は提案型経営革新支援事業所として支援を実施。観光関連事業所において、専門家派遣を活用し、同行するなど複数での支援にあたった。宮城県商工会連合会の商工会Webポータルサイト「小規模事業</p>	<p>(1) 専門家に同行し、個別に選定した6事業所に対する分析結果を基に経営課題の明確化、抽出した課題の解決策を提案した。事業所からは、現状把握、今後の方向性を確認することができたとの評価を受けた。</p> <p>1事業所ではよろず支援を活用し経営計画を策定した。</p>	<p><b>2. 経営状況の分析に関すること</b></p> <p>【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営計画の明確化、経営計画の策定に係るB/S、P/Lを読める人はどれくらいいるのか。職員には特に何のスキルが必要なのか。</li> <li>・財務分析をどのように活用するのか？何のための分析かがわかりにくいです。分析結果を受けて、支援を行ったのではないのでしょうか？ 従って、課題・問題点にはなっていないはずで</li> <li>・分析結果等がどのように活用されたのか、分析結果および支援による事業者の変化含め報告が欲しい。</li> </ul> <p>2 - (1)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1094 2181 1171"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	6	1		
A	B	C	D								
6	1										

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																						
<p>テムを活用し、経営計画作成の基礎資料とし利用するほか、新たな記帳システム利用者の推進を図り、事業計画作成の基礎資料として定着させる。</p> <p>(2)業種別の経営状況の把握 製造業、木地漆器業、建設業、小売業、サービス業、料理・飲食業、旅館・ホテル業より、選定し、四半期毎に調査・分析する。調査結果は事務所内で共有し、経営指導員での課題解決が困難な課題は専門家の支援を受け指導、助言を行う。</p> <table border="1" data-bbox="143 539 1003 722"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>主な分析項目</th> <th>実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業種別経営分析</td> <td>売上、採算、資金繰り等の前年度比、経営上の経営課題等</td> <td>調査項目以外の問題点も把握するよう、指導員による聞き取り調査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○活用方法 小規模事業者の経営分析を通し、個別企業における経営上の経営課題については、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ、宮城県商工会連合会等の専門家派遣事業を活用し専門的な指導を頂きながら、伴走型の支援により課題解決を図る。地域内小規模事業所の状況を測るため、売上等経営状況をグラフ化し観測する。特に変化がみられる項目についてはヒアリングを行い、経営課題の発見に繋げる。さらに調査分析を通し、効果的な項目の検討も合わせて行う。選定事業所は4年から5年を目安に変更し、より多くの事業所の分析を行う。</p> <p>(3)重点支援を計画している観光産業における分析 鳴子地域の主要産業である観光産業においては、風評被害などによる急速な宿泊者数の減少が課題となっており、特に厳しい経営環境に置かれていることから、財務分析を中心により詳細に経営状況を把握する必要がある。観光関連業者への巡回訪問を実施し、相談内容により分析の対象となる事業者をピックアップし、経営状況等を把握、専門知識を有する宮城県よろず支援拠点のコーディネーターと連携し経営分析を行い、結果を受け真の経営課題を抽出するとともに、疲弊する鳴子温泉宿泊業の持続的発展を図ることを目的に調査を実施する。</p>	項目	主な分析項目	実施方法	業種別経営分析	売上、採算、資金繰り等の前年度比、経営上の経営課題等	調査項目以外の問題点も把握するよう、指導員による聞き取り調査を行う。	<p>者支援・基幹システム（相談指導・記帳指導）」による情報の共有、情報の集積、システム内への景況感の入力を行った。 記帳機械化事業・ネットde記帳を活用している33事業所の貸借対照表や損益計算書、損益分岐点図表など経営分析システムを活用し、フィードバックを行った。</p> <p>(2)木地漆器業5事業所、小売業12事業所、料理・飲食業9事業所、旅館・ホテル業9事業所を選定し、四半期毎を調査中。内、3事業所で専門家派遣の新たな取組みに対する支援を実施。調査結果をホームページで公表予定。</p> <p>(3)巡回訪問を行う中で、経営状況の詳細把握に努めている。(昨年度の決算資料をもとに経営自己診断システムを活用し資料を作成、今年度決算期に各事業所へ決算時随時フィードバック)</p>	<p>(2)調査票の回答を受けて、よろず支援を活用し、2事業所の支援を行い、デザイン・経営計画を作成、専門家派遣事業を活用し、3事業所を支援し、販路拡大・デザイン作成に至った。 大崎市店舗リニューアル補助事業活用支援で店内改装1事業所が実施した。</p> <p>(3)経営課題解消へ向けて、よろず支援活用による旅館3事業所を支援し経営計画を作成した。 調査実施時のヒアリングより判明した課題に対し、専門家派遣事業を活用し、旅館1事業所を(デザイン・販路開拓)</p>	<p>2-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 416 2181 493"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1150 2181 1227"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	5	1	1		A	B	C	D	4	2	1	
項目	主な分析項目	実施方法																							
業種別経営分析	売上、採算、資金繰り等の前年度比、経営上の経営課題等	調査項目以外の問題点も把握するよう、指導員による聞き取り調査を行う。																							
A	B	C	D																						
5	1	1																							
A	B	C	D																						
4	2	1																							

経営発達支援事業の内容及び実施期間							実施内容			効果		評価																						
項目		主な分析項目			実施方法		支援し課題解決が図れた。  平成29年度末 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回訪問件数 (毎年度2%増)</td> <td>1,797</td> <td>2,132</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>35</td> <td>決算期 終了後</td> </tr> </tbody> </table>			項目	目標	実績	巡回訪問件数 (毎年度2%増)	1,797	2,132	経営分析件数	35	決算期 終了後	※ ABCDのいずれかを 記入願います  2-(目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回訪問件数 (毎年度2%増)</td> <td>A-7</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>A-2 B-3 未-2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	評価	巡回訪問件数 (毎年度2%増)	A-7	経営分析件数	A-2 B-3 未-2								
項目	目標	実績																																
巡回訪問件数 (毎年度2%増)	1,797	2,132																																
経営分析件数	35	決算期 終了後																																
項目	評価																																	
巡回訪問件数 (毎年度2%増)	A-7																																	
経営分析件数	A-2 B-3 未-2																																	
財務分析		売上高、経常利益、損益分岐点売上高、売上高総利益率、売上高経常利益率、流動比率、自己資本比率等			中小企業基盤整備機構「経営自己診断システム」を活用し事業所へ提供する																													
○活用方法 巡回訪問を通じて財務内容を中心とした調査を行う。主な分析項目が財務であることから「経営自己診断システム」を活用し、作成したデータを事業所に伝え検討すると共に、ヒアリングにより隠れた経営課題を見出し改善に努める。また、経営課題に合わせた更なる分析を、課題解決に向けた専門家を選定し、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ、宮城県商工会連合会等の専門家派遣事業を活用し、連携を取りながら経営計画の作成に役立て、実情を考慮し定期的なブラッシュアップを事業所と共に行う。 (目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回訪問件数 (毎年度2%増)</td> <td>1,695</td> <td>1,728</td> <td>1,762</td> <td>1,797</td> <td>1,832</td> <td>1,868</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>—</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>							項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	巡回訪問件数 (毎年度2%増)	1,695	1,728	1,762	1,797	1,832	1,868	経営分析件数	—	35	35	35	35	35							
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																												
巡回訪問件数 (毎年度2%増)	1,695	1,728	1,762	1,797	1,832	1,868																												
経営分析件数	—	35	35	35	35	35																												
平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画 平成28年度 (2)経営状況の把握は、目的としている観光振興策の一助となるよう、宿泊業・土産品小売等観光関係事業所より実施した。平成29年度は、業種は変更せずに事業所のみ入れ替え、景気観測を行って行く。 (3)財務分析は、ネットde記帳の簡易財務診断を活用していたが、併せて経営自己診断システムのデータも作成する。																																		
平成29年度 (3)2年分の比較分析を行うなど専門家の指導を受けながら財務分析等実施する。																																		
○課題・問題点 (3) 分析結果をどのように経営支援に活かせるのか職員のスキルが必要であり、課題解決に向けた体制づくりを要する。  ○改善方法 (3) 専門家派遣による支援に同行することで、職員の支援能力を高めていく。																																		

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																
<p><b>3. 事業計画の策定支援に関すること【指針②】</b></p> <p>現状においては、事業計画の必要性についての認識が薄く、重要視していない事業所が多い状況にある。事業を持続・成長させていくためには、事業計画が必要不可欠であることを理解して頂き、上記1.の経営分析、上記2.の分析結果を踏まえ、事業計画策定支援を行う。また、事業計画書を作成することにより、商品・サービスの独自性及び技術等を再認識することができ、具体的な計画に沿って事業を実施することにより、売上・利益の増加を図る。</p> <p>更に、創業支援においては、大崎市、NPO法人未来産業創造おおさき、市内商工団体と連携し創業希望者に対して専門的支援が必要となる場合は専門家派遣事業を活用し経営指導員と連携を取りながら支援を行い、資金面については、日本政策金融公庫及び地元金融機関との連携を図り、創業希望者の事業計画の策定支援を実施する。</p> <p>宮城県商工会連合会広域企業支援グループ（以下：宮城県商工会連合会サポーターズグループ）、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ等の専門家と連携し、定期的に事業計画のブラッシュアップを行うなど、巡回訪問等を通し、伴走型の支援・助言を行い、中小企業・小規模事業者の経営の持続的発展を図る。</p> <p>（事業内容）</p> <p>(1) 窓口相談、巡回訪問時に、小規模事業者からの相談等を受けるとともに、事業計画策定等に関するセミナー、個別相談会の開催により、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行う。</p> <p>(2) 事業計画策定を目指す小規模事業者については、金融相談、小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金、その他県単の事業補助金等個々の事業者の事業内容に則した最適な支援メニューを選択するとともに、その申請を通じて事業計画の策定支援を行う。</p> <p>(3) 創業者に対しては、空き店舗対策も含め、不動産業者と連携し、商工会HPへ空き店舗情報を掲載するとともに、大崎市及び古川商工会議所へのHP及び広報誌等への掲載及びリンクについて調整を進める。更に、空き店舗情報の問合せ窓口を設置し創業者の掘り起こしを行う。</p> <p>(4) 創業者及び創業希望者に対し、創業者としての知識の向上を図るため、</p>	<p><b>3. 事業計画の策定支援に関すること</b>（担当：佐藤）</p> <p>相談会開催に加え、経営計画の策定意義など、経営計画の必要性を視覚に訴える効果的なチラシを作成。周知内容に、商工会での経営計画策定支援に関する事項も合わせて行う。</p> <p>周知においては、小規模事業者に対し取りこぼしが無いよう行政等と連携し広報への記事掲載を行うほか、金融機関と連携し周知を図った。</p> <p>(1) 5月18日(2回開催)セキ…12名参加 個別相談会(2回)…3件 2月14日個別相談…2事業所、15日セミナー・個別相談…10事業所</p> <p>(2) 持続化補助金申請件数 9事業所(内採択件数6事業所) 市リニューアル補助金…5件 市持続化補助金…4件</p> <p>(3) Facebookによりリンクを設定し実施した。(空き店舗を活用した創業を1事業所支援)</p> <p>(4) 創業計画策定支援…3件、他</p>	<p>上半期の計画作成支援に対しては、県連伴走型強化補助金を活用しセミナーを開催し周知を図り、9事業所の計画作成に至った。</p> <p>下半期については、大崎市広報に経営計画の必要性及び商工会での支援の記事を掲載、商工振興課との連携が図れた。また、計画作成に係る周知チラシを金融機関の窓口で周知頂くなど協力を得ることができた。</p> <p>(1) 掘り起こしを行った結果、新規作成5事業所、ブラッシュアップ4事業所となった。その他、巡回等において新規2事業所、ブラッシュアップ2事業所で作成を進めている。</p> <p>(2) 持続化6事業所採択、事業実施(補助金額262円)計画作成により売上向上に貢献した。</p> <p>(3) 創業者1事業所が空き店舗を活用し、開店したことにより空き店舗の解消と賑わいが生ま</p>	<p><b>3. 事業計画の策定支援に関すること</b></p> <p>【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画作成の目的明確化による動機づけ向上が問題と考えられ、工夫・改善が求められる。</li> <li>・セミナー開催が実際の計画策定に結びつくことが重要です。</li> <li>・空き店舗情報はwebに掲載しFBから誘導するように使いましょう。タイムラインに情報が埋没します。</li> </ul> <p>3-(1)</p> <table border="1" data-bbox="1906 884 2184 962"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>3-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1034 2184 1112"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>5</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>3-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1184 2184 1262"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>3-(4)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1334 2184 1412"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td></td></tr> </table>	A	B	C	D	4	3			A	B	C	D	5	2			A	B	C	D	3	4			A	B	C	D	2	2	3	
A	B	C	D																																
4	3																																		
A	B	C	D																																
5	2																																		
A	B	C	D																																
3	4																																		
A	B	C	D																																
2	2	3																																	



経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																																								
<p>大崎市が実施する「創業支援事業」の総合支援事業者として連携するNPO法人未来産業創造おおさきの「創業スクール」への参加支援及び周知を行うと共に、創業計画の策定支援を行う。</p> <p>なお、事業計画作成についての支援は、事業者個々のレベルに合わせて、レベルアップを図りながら事業所と共に実施する。事業所にあつては、あるべき姿（目標）を明確にさせ、経営理念・事業領域等について書き出して頂くなど計画作成に向けて着実な一歩を後押しする。経営環境分析（3C分析、SWOT分析）を行い、1年～3年後の経営方針を決定する際の地域の経済動向、需要動向等基礎資料は、業種及び事業規模等に応じて調査した結果を活用し伴走型の支援を行う。</p> <p>（目標）</p> <table border="1" data-bbox="114 639 1028 970"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー開催数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>セミナー等参加事業所数（2回合計）</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>創業スクール参加者数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者新規件数</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>空き店舗情報提供</td> <td>—</td> <td>情報収集</td> <td>HP掲載</td> <td colspan="3">→随時更新</td> </tr> </tbody> </table> <p>※現状の事業計画策定事業者数は、小規模事業者持続化補助金での支援事業者を記載</p>	項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	セミナー開催数	2	2	2	2	2	2	セミナー等参加事業所数（2回合計）	18	20	20	20	20	20	創業スクール参加者数	—	2	2	3	3	3	事業計画策定事業者新規件数	12	20	20	20	20	20	空き店舗情報提供	—	情報収集	HP掲載	→随時更新			<p>創業スクール…2名参加（ワーキングスペースalataより） 市創業補助金…1件活用 公庫創業資金…1件活用</p> <p>平成29年度末</p> <table border="1" data-bbox="1055 655 1480 975"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー開催数</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加事業所数</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>創業スクール参加者数</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数新規件数</td> <td>20</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>空き店舗情報提供</td> <td>HP掲載</td> <td>Facebook</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	セミナー開催数	2	4	セミナー参加事業所数	20	20	創業スクール参加者数	2	2	事業計画策定事業者数新規件数	20	9	空き店舗情報提供	HP掲載	Facebook	<p>れた。</p> <p>(4)創業支援により3事業所開業となった。創業スクールの周知を図ったが、参加者への経営支援はできていない。</p> <p>←持続化によるもの5件、によるもの巡回2件、創業によるもの2件</p>	<p>3-(目標)</p> <table border="1" data-bbox="1845 453 2175 954"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー開催数</td> <td>A-7</td> </tr> <tr> <td>セミナー参加事業所数</td> <td>A-7</td> </tr> <tr> <td>創業スクール参加者数</td> <td>A-7</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数新規件数</td> <td>B-1 C-6</td> </tr> <tr> <td>空き店舗情報提供</td> <td>A-1 B-4 C-1 未-1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	セミナー開催数	A-7	セミナー参加事業所数	A-7	創業スクール参加者数	A-7	事業計画策定事業者数新規件数	B-1 C-6	空き店舗情報提供	A-1 B-4 C-1 未-1
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																					
セミナー開催数	2	2	2	2	2	2																																																																					
セミナー等参加事業所数（2回合計）	18	20	20	20	20	20																																																																					
創業スクール参加者数	—	2	2	3	3	3																																																																					
事業計画策定事業者新規件数	12	20	20	20	20	20																																																																					
空き店舗情報提供	—	情報収集	HP掲載	→随時更新																																																																							
項目	目標	実績																																																																									
セミナー開催数	2	4																																																																									
セミナー参加事業所数	20	20																																																																									
創業スクール参加者数	2	2																																																																									
事業計画策定事業者数新規件数	20	9																																																																									
空き店舗情報提供	HP掲載	Facebook																																																																									
項目	評価																																																																										
セミナー開催数	A-7																																																																										
セミナー参加事業所数	A-7																																																																										
創業スクール参加者数	A-7																																																																										
事業計画策定事業者数新規件数	B-1 C-6																																																																										
空き店舗情報提供	A-1 B-4 C-1 未-1																																																																										
<p>平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画</p> <p>平成28年度 ・なし</p>																																																																											
<p>平成29年度 (1)広く周知を図るため、大崎市の広報での配布を検討する。 (3)空き店舗情報は商工会HPにより情報取得できるよう整備を図る。</p>																																																																											
<p>○課題・問題点 事業計画策定事業者、新規20事業所の目標を達成するため、地道ではあるが定期的な情報発信が課題と考える。</p> <p>○改善方法 今年度、大崎市広報への経営計画作成の必要性及び支援に関しての記事掲載、地元紙大崎タイムスへの記事掲載など実施した。引き続き多くの方の目に留まるよう周知を図り、小規模事業者の持続的発展には事業（経営）計画が必要であることを気付いて頂けるよう情報発信を進めて行く。</p>																																																																											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	報告内容	効果	評価																																								
<p><b>4. 事業計画の策定後の実施支援に関すること【指針②】</b></p> <p>経営計画策定後は、事業計画書の内容に沿い進捗状況を確認し、状況に合わせてフォローアップを行う。実施計画のブラッシュアップを図り、さらに宮城県商工会連合会サポーターリーダー、宮城県よろず支援拠点等の専門家と連携し、伴走型の支援・助言を行い、中小企業・小規模事業者の経営の持続的発展を図る。創業希望者に対しては、常時相談窓口を開設し、創業後についても税務・労働等身近な課題解決を図り、継続した伴走型の支援を実施する。</p> <p>(事業内容)</p> <p>(1) 事業計画策定後に、必要に応じたフォローアップ支援を行うため、3ヶ月に1度巡回訪問し、進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行う。</p> <p>(2) 国、県、市、全国連等の支援施策等の広報周知及び中小企業支援ポータルサイト「ミラサポ」への登録支援を行い、事業所自らが課題に応じた情報収集を行えるよう支援する。</p> <p>(3) 小規模事業者持続化補助金実績報告に向け、必要書類及び報告書作成に関する支援を行うとともに、持続化補助金において作成した中期計画に沿った効果的な事業実施に向け指導・助言を行う。</p> <p>(4) 販路に係る事業計画に対しては、効果的な販路開拓を図る手段として、各種展示会への参加、ホームページやECサイトへの掲載等、ITを活用し計画に則した効果的な広報を実施し、販路開拓に向けての支援を行う。</p> <p>(5) 創業者に対し、創業計画策定後のフォローアップ等の支援を行うと共に、大崎市補助事業の活用に向け、大崎市と連携を強化し積極的に情報発信を行い創業・第二創業希望者における身近な経営相談を含め支援を行う。</p> <p>経営環境は日々変化することから、目標達成のためには、定期的に計画を見直す必要があります。PDCAサイクルによりメンテナンスを行う際、スケジュールに基づき進められているかを定期的に確認し、進んでいない場合は、ヒアリングにより経営課題を抽出し、経営、</p>	<p><b>4. 事業計画の策定後の実施支援に関すること</b> (担当：佐藤)</p> <p>(1) 前年度以前及び今年度持続化補助金採択事業所に対し、7月及び10月、12月に遂行状況等確認を行っている。随時進捗状況により窓口相談及び巡回訪問により支援を図った。前年以前作成事業所21件、今年度作成11件を支援。</p> <p>(2) 登録2件（登録後の専門家派遣等で活用）</p> <p>(3) 随時巡回し報告に向け実施、事業終了予定の12月に向けて支援を行った。</p> <p>(4) 周知を行っているが、県連主催の商談会の参加はなかった。伊達な商談会には2事業所参加。ECサイトへ2件登録。</p> <p>(5) 専門家及びよろず支援拠点と連携しフォローアップを実施した。(創業希望者3件)</p>	<p>経営計画作成後の状況</p> <p>(1) 今年度フォローアップを行った32事業所において、計画により積極的に取り組んでいる事業所が25事業所、その他一部ではあるものの目的に向かって取り組んでいる。また、その内46%は、事業の結果を受け改善に取り組んでいる。計画作成後の粗利益、売上は以下の通り。</p> <table border="1" data-bbox="1507 751 1816 900"> <tr><td>向上</td><td>9事業所</td></tr> <tr><td>横ばい</td><td>13事業所</td></tr> <tr><td>不規則</td><td>7事業所</td></tr> <tr><td>悪化</td><td>1事業所</td></tr> </table> <p>粗利益</p> <table border="1" data-bbox="1507 938 1816 1086"> <tr><td>向上</td><td>12事業所</td></tr> <tr><td>横ばい</td><td>12事業所</td></tr> <tr><td>不規則</td><td>5事業所</td></tr> <tr><td>悪化</td><td>1事業所</td></tr> </table> <p>売上</p> <p>(2) 登録後専門家派遣を活用しパッケージデザインの改良、補助金情報取得に活用している。</p> <p>(3) 9件の事業実施に向け支援により計画を実施することができた。報告も全て完了している。</p> <p>(4) 登録のみ未掲載</p>	向上	9事業所	横ばい	13事業所	不規則	7事業所	悪化	1事業所	向上	12事業所	横ばい	12事業所	不規則	5事業所	悪化	1事業所	<p><b>4. 事業計画の策定後の実施支援に関すること</b></p> <p><b>【コメント】</b></p> <p>・4-(4)のようにITを活用した事業支援では、サイトの制作から、扱い方まで懇切丁寧な支援を計画・実施しないとなかなか成果として表れにくいのでは？</p> <p>・フォローアップに関しては、経営向上に寄与していると考えられるため継続して取り組んでほしい。持続化フォローに関し、事業実施による経営への効果などが不明。</p> <p>・「計画により積極的に取り組んでいる」とは計画以上のペースや資源投入をして事業を進めているとの意味か？それとも「策定した計画に基づいて」との意味か？表現を整理されたい。</p> <p>4-(1) ※未記入1件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1121 2179 1198"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>4</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>4-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1236 2179 1313"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table> <p>4-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1351 2179 1428"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>4</td><td>3</td><td></td><td></td></tr> </table>	A	B	C	D	4	2			A	B	C	D	2	1	2	1	A	B	C	D	4	3		
向上	9事業所																																										
横ばい	13事業所																																										
不規則	7事業所																																										
悪化	1事業所																																										
向上	12事業所																																										
横ばい	12事業所																																										
不規則	5事業所																																										
悪化	1事業所																																										
A	B	C	D																																								
4	2																																										
A	B	C	D																																								
2	1	2	1																																								
A	B	C	D																																								
4	3																																										

経営発達支援事業の内容及び実施期間							実施内容			効 果	評 価																																							
財務、税務等内容に応じて専門家派遣依頼を行うなど、効果的な活用を図り、事業所の持続的な発展に努める。  (目標)							平成29年度末 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォローアップ事業者</td> <td>20</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>ミラサポ新規登録</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>創業フォローアップ数</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			項目	目標	実績	フォローアップ事業者	20	32	ミラサポ新規登録	14	2	創業フォローアップ数	3	3	(5)3 事業所が開業	4-(4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 4-(5) <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 4-(目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォローアップ事業者</td> <td>A-7</td> </tr> <tr> <td>ミラサポ新規登録</td> <td>C-3 D-4</td> </tr> <tr> <td>創業フォローアップ数</td> <td>A-4 B-3</td> </tr> </tbody> </table>				A	B	C	D		2	3	1	A	B	C	D	4	3			項目	評価	フォローアップ事業者	A-7	ミラサポ新規登録	C-3 D-4	創業フォローアップ数	A-4 B-3
項目	目標	実績																																																
フォローアップ事業者	20	32																																																
ミラサポ新規登録	14	2																																																
創業フォローアップ数	3	3																																																
A	B	C	D																																															
	2	3	1																																															
A	B	C	D																																															
4	3																																																	
項目	評価																																																	
フォローアップ事業者	A-7																																																	
ミラサポ新規登録	C-3 D-4																																																	
創業フォローアップ数	A-4 B-3																																																	
平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画 平成28年度 ・なし																																																		
平成29年度 (2)ミラサポ登録件数及び新たな需要の開拓に寄与する事業において、目標と乖離する実績が見られた項目については、今後変更申請も含め検討が必要であるとの意見を踏まえ、ミラサポによる情報収集に向けた周知を行う。																																																		
○課題・問題点 (2)ミラサポの登録が、以前同様専門家派遣を目的とするものになっており、登録件数が伸びない。																																																		
○改善方法 (2)ミラサポは、公的機関の支援情報・支援施策(補助金・助成金など)の情報提供や、経営の悩みに対する先輩経営者や専門家との情報交換の場を提供するものであり、中小企業・小規模事業者の未来を支援するサイトであることの周知を進め登録を促したい。																																																		

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価														
<p><b>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</b></p> <p>鳴子温泉、岩出山観光施設における観光客及び宿泊客の減少と、「宮城伝統こけし」「鳴子漆器」においては、みやぎ伝統的工芸品として国、県指定になっているものの、売上個数や売上額減少、後継者不足と問題が山積している。</p> <p>需要動向を調査することで観光地として、地域内の旅館・ホテル等の宿泊施設では、魅力ある施設として支持されるためには何が必要なのか、また土産品となる各商品においてどのような商品を開発・製造販売すれば良いのかを把握し、それにより地域の魅力を高めて地域内での観光業に関わる全ての中小企業・小規模事業者について売上増等のシナジーを図って行くため調査を実施し、専門的な課題等については、宮城県商工会連合会エキスパート派遣事業、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ等との専門家と連携し、小規模事業者の抱える経営上の悩みに対して、宮城県商工会連合会サポーターリーダーと連携しながら丁寧にサポートする。</p> <p>(事業内容)</p> <p>(1) 消費者購買動向調査を道の駅売上ランキング上位にある「あ・ら・伊達な道の駅」来場者に対し購入品、購入価格等を職員による聞き取り調査を行うことにより消費動向を分析する。調査結果は、消費者ニーズに応じた商品開発並びに販路拡大において、ITを活用した商品の情報の提供及び商品力の効果的な情報発信に関する手法を商工会HP並びに巡回訪問等を通じ相談時に提供していく。</p> <table border="1" data-bbox="143 1118 992 1337"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施内容等</th> <th>実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費動向調査</td> <td>顧客属性、購入内容等、職員の聞き取りにおいて調査を実施する</td> <td>集計・分析により需要動向結果をホームページに掲載するとともに事業所へ提供する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○活用方法</p> <p>購入商品や購入価格等を調査することにより、商品開発及びお客様に求められる価格帯の情報が得られる。これらの情報提供により、地域内</p>	項目	実施内容等	実施方法	消費動向調査	顧客属性、購入内容等、職員の聞き取りにおいて調査を実施する	集計・分析により需要動向結果をホームページに掲載するとともに事業所へ提供する。	<p><b>5. 需要動向調査に関すること</b> (担当：高橋・結城)</p> <p>(1) 泉マルシェ 2017 出展において主力商品の需要動向についてアンケート調査を実施。 場所：泉中央駅前ペDESTリアンデッキ 日時：平成 29 年 9 月 16 日(土) 出展事業者：食品製造販売の事業者 3 事業者 集計及び分析を行い巡回等において情報提供を実施。</p>	<p>(1) 出展事業者は、顧客ニーズに応じた商品開発並びに販売拡大の情報収集ができた。後日、電話やメールでの問い合わせが数件あり、販路拡大に繋がった。 調査結果を、3 事業所に報告し、商品開発、販路開拓におけるターゲット設定など、売上及び利益に反映できるようフォローアップを行った。結果を受けて、積極</p>	<p><b>5. 需要動向調査に関すること</b> 【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査分析の結果が具体的にどのような事業者変化に繋がったかについても報告を望む。</li> <li>(1) 道の駅がなぜ泉マルシェになったのでしょうか？「実施内容」で説明が必要ではないでしょうか。</li> </ul> <p>消費動向調査としてのデータの評価・連続性は担保されるのか？(※1 下記 27 年度→28 年度に記載済)</p> <p>5-(1)</p> <table border="1" data-bbox="1906 924 2179 1000"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	6		1	
項目	実施内容等	実施方法															
消費動向調査	顧客属性、購入内容等、職員の聞き取りにおいて調査を実施する	集計・分析により需要動向結果をホームページに掲載するとともに事業所へ提供する。															
A	B	C	D														
6		1															

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価														
<p>での販売商品にするか、地域外更にはWeb での販売商品とするかの判断材料とするなど、小規模事業者の具体的な経営課題の解決への支援に活かす。また、専門的な指導を必要としている場合は、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ、宮城県商工会連合会等の専門家派遣事業を活用、専門家と共に経営指導員が同行し課題解決を図る。</p> <p>また、ITを活用した販路開拓に関しては、ニッポンセレクト及び100万会員ネットワーク等の登録支援を図ると共に、各事業者それぞれが、facebook やブログ、ツイッター等SNSを活用し情報発信が行えるよう支援する。</p> <p>(2)小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を活用し、伝統ある「鳴子漆器」「鳴子伝統こけし」の商品開発に伴う商品の需要動向について、先進地視察やアンケート調査により情報の収集及び分析を行い、変化する環境に対応しながら商品開発の支援を行う。また、職人のみならず、観光業（旅館・ホテル）、地域住民、行政などと連携を保ちながら地域経済の振興に役立つ「売れる新商品（工芸品）」開発のため継続的な支援を行うと共に、相談内容に応じた情報を提供する。</p> <table border="1" data-bbox="143 847 1003 1110"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施内容</th> <th>実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商品の市場・受容性</td> <td>回答者属性、認知度、購入価格帯、試作品評価について聞き取り調査を実施する</td> <td>調査・分析により全国展開支援事業委員会へ報告し、職人と共に試作品のブラッシュアップに活用すると共に、事業所へ資料を提供する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○活用方法</p> <p>鳴子温泉における宿泊客の、調査内容を活用し商品の開発とブラッシュアップを図り、売れる魅力のある商品とするため、職人においては、調査内容を提供する。また、鳴子地域内で販売している事業所においては、効果的な集客を図る商品レイアウトなどを支援する。専門的な経営課題の発生に対しては、宮城県よろず支援拠点、ミラサポ、宮城県商工会連合会等の専門家派遣事業を活用し専門家と共に経営指導員が同行し課題解決を図る。</p>	項目	実施内容	実施方法	商品の市場・受容性	回答者属性、認知度、購入価格帯、試作品評価について聞き取り調査を実施する	調査・分析により全国展開支援事業委員会へ報告し、職人と共に試作品のブラッシュアップに活用すると共に、事業所へ資料を提供する。	<p>(2)宮城ふるさとプラザイベント販売コーナーへの出展時に、鳴子漆器及びこけしグッズのアンケート調査を実施。 平成30年1月24日～30日 「職と食の祭典2018」 工芸品制作の工人（漆器）2事業所、食品製造業販売3事業所、こけしグッズ販売1事業所</p>	<p>的に取り組んでいる。</p> <p>(2)宮城ふるさとプラザイベント販売コーナーへの出展・アンケート調査実施。 ・アンケート（200枚）</p> <p>出展に関しては伝統ある「鳴子漆器」、及び特産品の知名度を上げるために、試食を行いながら、周知PRを行い、販路拡大に繋げた。</p> <p>商品の市場・受容性について調査・分析を実施したことにより、伝統ある「鳴子漆器」の現況を把握し、調査内容を活用し商品の開発とブラッシュアップを図り、売れる魅力のある商品づくりに結び付けたい。</p>	<p>5-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 598 2181 676"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	4	3		
項目	実施内容	実施方法															
商品の市場・受容性	回答者属性、認知度、購入価格帯、試作品評価について聞き取り調査を実施する	調査・分析により全国展開支援事業委員会へ報告し、職人と共に試作品のブラッシュアップに活用すると共に、事業所へ資料を提供する。															
A	B	C	D														
4	3																

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																								
<p>(3) 上記の調査分析を受け、消費者ニーズに即した商品開発及び展示会等への出展時における商品の効果的な情報発信と商談マッチング手法等、販路開拓に向けての支援を行うと共に、経営計画作成の基礎資料とし相談内容に応じた情報を提供する。</p> <p>(目標)</p> <table border="1" data-bbox="96 387 1021 683"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費動向調査数</td> <td>—</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>商品開発に関する調査数</td> <td>—</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>HP情報提供</td> <td>—</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	消費動向調査数	—	50	50	50	50	50	商品開発に関する調査数	—	50	50	50	50	50	HP情報提供	—	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	<p>(3) 調査取りまとめ後活用予定</p> <p>平成29年度末</p> <table border="1" data-bbox="1055 427 1485 651"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費動向調査数</td> <td>50</td> <td>298</td> </tr> <tr> <td>商品開発に関する調査数</td> <td>50</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>HP情報提供</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	消費動向調査数	50	298	商品開発に関する調査数	50	200	HP情報提供	1	1	<p>(3) 調査票収集は完了、食品販売事業者へはフィードバック済み。伝産品調査は現在集計・分析中、HPで公表予定。</p>	<p>5-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 233 2181 309"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5-(目標)</p> <table border="1" data-bbox="1845 384 2170 738"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費動向調査数</td> <td>A-6 C-1</td> </tr> <tr> <td>商品開発に関する調査数</td> <td>A-1 B-4 未-2</td> </tr> <tr> <td>HP情報提供</td> <td>A-1 B-4 未-2</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	4				項目	評価	消費動向調査数	A-6 C-1	商品開発に関する調査数	A-1 B-4 未-2	HP情報提供	A-1 B-4 未-2
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																					
消費動向調査数	—	50	50	50	50	50																																																					
商品開発に関する調査数	—	50	50	50	50	50																																																					
HP情報提供	—	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回																																																					
項目	目標	実績																																																									
消費動向調査数	50	298																																																									
商品開発に関する調査数	50	200																																																									
HP情報提供	1	1																																																									
A	B	C	D																																																								
4																																																											
項目	評価																																																										
消費動向調査数	A-6 C-1																																																										
商品開発に関する調査数	A-1 B-4 未-2																																																										
HP情報提供	A-1 B-4 未-2																																																										
<p>平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画</p> <p>平成28年度 ・当商工会の計画は観光を中心としたものであるが、平成27年度実施した道の駅の調査において、観光客の割合が少なく、観光に関する消費動向で、商品開発並びに販路拡大に関する内容が反映されていなかった為、鳴子地域で観光客が増加している鬼首キャンプ場で実施した。(※1)</p>																																																											
<p>平成29年度 (1) 昨年度の調査において、土産品に対する購買意欲が少なかったことから、土産品の魅力向上に向けた調査を実施する。また、経営発達支援計画において、個社支援をメインとした事業により小規模事業者の売上向上に向けた支援に移行されてきていることから、今年度は事業所取扱い商品の需要動向調査とした。</p>																																																											
<p>○課題・問題点 地域経済の環境の変化に対応しながら、売りたいものと売れる物の一致を目指すことが課題である。</p> <p>○改善方法 実際の消費者の生の声を反映したアンケートの結果を基に、購買意欲を高めるようなお土産品の魅力向上及び的確なターゲットに訴えかけ、売上・利益の向上を目指した支援を実施する。</p>																																																											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価
<p data-bbox="73 279 891 316"><b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</b></p> <p data-bbox="129 323 1028 619">鳴子地域における伝統工芸品、漆器、こけし等においては、職人の高齢化及び後継者不足と、伝統工芸品の購買力の低下、温泉街への観光客の減少と、土産品を取り扱っている小売店にも影響が出ている。そこで、地域内における地場産品、伝統工芸品の販路拡大及び販路開拓を行うため、実施した調査分析を踏まえ、独自の商品及び独自の技術の発信を商談会展出及び全国商工会連合会運営のECサイト「ニッポンセレクト.com」への出品支援を通じ商品及び技術の認知度の向上を図る。</p> <p data-bbox="129 627 1028 1002">平成25年度より小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を3ヵ年計画で実施しており、平成26年度は、調査事業を受けた2年目（本体事業1年目）として、売れる工芸品の試作品の開発を行っており、平成27年度より販路開拓を目的に事業を実施する計画である。消費者に受け入れられる商品を開発することにより、継続した販路を維持することができると考える。販路開拓において出た課題をもとに、商品や販売方法等の見直しなどを含めた事業計画や戦略変更の支援を行う。事業計画→販路→課題発見→商品開発、事業計画等変更→販路といった連続性のある支援及びフォローアップを行うことにより、経営の安定を図る。</p> <p data-bbox="100 1050 405 1082">商品開発（試作品一例）</p> <div data-bbox="118 1098 400 1315">  </div> <p data-bbox="170 1321 315 1353">乾漆箸置き</p> <div data-bbox="414 1098 703 1315">  </div> <p data-bbox="472 1321 613 1353">ビアカップ</p> <div data-bbox="716 1098 1010 1315">  </div> <p data-bbox="719 1321 999 1353">キャンドルホルダー</p> <p data-bbox="118 1393 259 1425">(事業内容)</p>	<p data-bbox="1055 279 1473 355"><b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</b>(担当:結城)</p> <p data-bbox="1055 400 1480 659">小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業により、試作された地域資源及び伝統工芸品の新たな魅力、付加価値を有した商品の継続的な開発、開発された売れる工芸品及び伝統工芸品の展示会等への出展支援を行った。</p> <p data-bbox="1055 667 1480 890">更に小規模事業者へ広く周知を図り出店希望者を募ると共に、特産品の知名度を上げるため、食品関係も含め商談を伴う展示会等へ出展し、需要開拓に向けた支援を行った。</p> <p data-bbox="1055 898 1480 1082">出展した際には、復命をもって商品に関する消費者の動向の報告を受けるものとし、消費者ニーズに関して他事業所への支援に活用した。</p> <div data-bbox="1070 1114 1462 1409">  </div>		<p data-bbox="1848 279 2168 395"><b>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</b></p> <p data-bbox="1848 403 2004 435">【コメント】</p> <ul data-bbox="1848 443 2168 1305" style="list-style-type: none"> <li>・工人さん達も意識改革を図ろうとしていると思われませんが、お互いが地域全体のことを考えて協力する体制が構築出来たらもっと良い結果が出ると思われま</li> <li>・販路開拓に関しては、催事等の一時的な販売実績よりも恒常的・戦略的販路創出が重要と考える。また、外販のみならず観光客入込増に向けた取り組みもあっても良いのではないかとと思われる。その点が地域事業者ニーズと乖離している可能性も考えられる。</li> <li>・事業実施結果が計測できていない事業もあり、本項目の支援成果は低調に感じる。事業のKGI、KPIを再認識しPDCAを着実に回す仕組みづくりや工夫が必要ではないか。</li> </ul>

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																
<p>(1)宮城県商工会連合会主催の「地域内商談会」へのバイヤー・サプライヤーとして商品の魅力を効果的に発信できるよう出展支援を行い、販路開拓と認知度の向上を図る。</p> <p>(2)小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業を活用し、先進地視察やアンケート調査結果や需要動向調査の分析結果を活かし、地域資源及び伝統工芸品の新たな魅力、付加価値を有した商品の継続的な開発、開発された売れる工芸品及び伝統工芸品の展示会等への出展支援を行い、「鳴子漆器」「鳴子伝統こけし」の販路開拓と認知度の向上を図る。更に、地域資源のブランド化を進め、安定した商品の提供と安心して使用できる商品品質をアピールすることにより、販路拡大と継続的な商品提供により、ブランド化の確立を図る。</p> <p>(3)展示会・商談会出展を通じ、FCPシートの個別作成支援を行うと共に、出展する小規模事業者に対し効果的な商品の展示・周知・アピール手法について専門家と連携し、必要な指導・助言を行う。</p> <p>(4)農・商・工の枠組みを超え「おおさき」でつくられた製品・技術を一堂に展示、周知している「おおさき産業フェア」への出展支援を行い、NPO法人未来産業創造おおさきと連携し販路開拓と認知度の向上を図る。</p> <p>(5)全国商工会連合会運営のECサイト「ニッポンセレクト.com」への出品支援を行い、販路開拓と認知度の向上を図る。</p> <p>(6)地域内の旅館・ホテル等の宿泊施設及び小規模事業所における独自の取り組みなどを需要動向調査の分析結果を活かし、100万会員ネッ</p>	<p>(1)伊達な商談会へ出店者2事業所</p> <p>(2)①土産品(食品)</p> <p>開催日 平成29年9月16日(土)</p> <p>内容 泉マルシェ2017</p> <p>場所 泉中央駅前ペDESTリアンデッキ</p> <p>来場者数4万人 (主催ホームページより)</p> <p>業種等 食品製造販売3事業所</p> <p>※初めてマルシェ形態での出店であったことから、出店に向けての支援を事前に3回実施した。</p> <p>②伝統工芸品及び特産品</p> <p>開催日 平成30年1月24日(水)～30日(火)</p> <p>場所 池袋 宮城ふるさとプラザ</p> <p>業種等 漆器1事業所 特産品4事業所</p> <p>※初めて東京での出店であったことから、出店に向けての支援を事前に3回実施した。</p> <p>③ECサイト</p> <p>伝統工芸品を製造販売する4事業所販路拡大支援(※1)</p> <p>平成29年8月1日アップ</p> <p>(3)①土産品出店3事業所支援</p> <p>(4)出展支援なし…運営団体として支援協力を行った。</p> <p>(5)申請2事業所…登録1事業所ニッポンセレクト.com出品支援</p> <p>(6)なし</p>	<p>(1)測れていない。</p> <p>(2)①目標売上 ¥20,000×6事業所 【実績】→¥87,780 平均売上¥29,260×3 ※出店後に問合せ及び来店により売上に結び付いた。</p> <p>②目標売上 ¥30,000×5事業所 【実績】→¥569,319 平均売上¥113,863×5 ※出店後に後日注文を受け発送し売上に結び付いた。</p> <p>③各事業所へ3回同行し趣旨説明を行う。通常の販売形態ではない選択制の注文方式で進めて頂いたが、1件の売上実績がみられた。アクセス状況等10月末現在はHPに掲載。1月末現在集計中。</p> <p>(3)販売方法、事前準備等支援により、店づくりに反映されていた。</p> <p>(4)なし</p> <p>(5)登録2件行ったが未掲載のため実績は測れていない。</p>	<p>6-(1) ※未記入1件</p> <table border="1" data-bbox="1906 272 2188 347"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table> <p>6-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 422 2188 497"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>6-(3) ※未記入1件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1013 2188 1088"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>6-(4) ※未記入2件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1125 2188 1200"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>4</td></tr> </table> <p>6-(5) ※未記入1件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1236 2188 1311"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>1</td><td></td><td>4</td><td>1</td></tr> </table> <p>6-(6) ※未記入2件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1348 2188 1423"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>4</td></tr> </table>	A	B	C	D		1	3	2	A	B	C	D	3	3	1		A	B	C	D	2	2	1		A	B	C	D			1	4	A	B	C	D	1		4	1	A	B	C	D			1	4
A	B	C	D																																																
	1	3	2																																																
A	B	C	D																																																
3	3	1																																																	
A	B	C	D																																																
2	2	1																																																	
A	B	C	D																																																
		1	4																																																
A	B	C	D																																																
1		4	1																																																
A	B	C	D																																																
		1	4																																																



経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																																								
<p>トワーク（※1）及び玉造商工会HPへ小規模事業者の掲載支援を行い、販路開拓と認知度の向上を図る。</p> <p>※全国商工会連合会がweb上で運営するコンパスクラブ（小規模事業者支援サイト）内にあり、ID・パスワードを取得し、所定のフォーマットに従い入力すると、企業情報や店舗・商品等の情報が発信できる自社のホームページ（ネットショップが運営できるシステム有り）が無料で作成、開設できるサイトである。</p> <p>（目標）</p> <table border="1" data-bbox="96 507 1016 970"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）</td> <td>4 (1)</td> <td>5 (2)</td> <td>5 (3)</td> <td>5 (4)</td> <td>5 (5)</td> <td>5 (5)</td> </tr> <tr> <td>FCPシート作成支援事業所数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）</td> <td>—</td> <td>2 (1)</td> <td>2 (1)</td> <td>1 (2)</td> <td>1 (2)</td> <td>1 (2)</td> </tr> <tr> <td>「ニッポンセレクト.com」出品支援</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>100万会員ネットワーク新規登録事業所数</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	4 (1)	5 (2)	5 (3)	5 (4)	5 (5)	5 (5)	FCPシート作成支援事業所数	—	5	5	5	5	5	伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	—	2 (1)	2 (1)	1 (2)	1 (2)	1 (2)	「ニッポンセレクト.com」出品支援	—	3	5	7	8	10	100万会員ネットワーク新規登録事業所数	—	2	5	6	7	8	<p>平成29年度末</p> <table border="1" data-bbox="1055 501 1473 963"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）</td> <td>5 (4)</td> <td>2 (0)</td> </tr> <tr> <td>FCPシート作成支援事業所数</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）</td> <td>1 (2)</td> <td>1 (0)</td> </tr> <tr> <td>「ニッポンセレクト.com」出品支援</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>100万会員ネットワーク新規登録事業所数</td> <td>6</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	5 (4)	2 (0)	FCPシート作成支援事業所数	5	0	伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	1 (2)	1 (0)	「ニッポンセレクト.com」出品支援	7	2	100万会員ネットワーク新規登録事業所数	6	0	<p>(6)なし</p>	<p>6－（目標）</p> <table border="1" data-bbox="1845 344 2181 975"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）</td> <td>B-1 C-6</td> </tr> <tr> <td>FCPシート作成支援事業所数</td> <td>B-1 C-3 D-3</td> </tr> <tr> <td>伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）</td> <td>B-1 C-3 D-3</td> </tr> <tr> <td>「ニッポンセレクト.com」出品支援</td> <td>B-1 C-6</td> </tr> <tr> <td>100万会員ネットワーク新規登録事業所数</td> <td>C-2 D-5</td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	B-1 C-6	FCPシート作成支援事業所数	B-1 C-3 D-3	伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	B-1 C-3 D-3	「ニッポンセレクト.com」出品支援	B-1 C-6	100万会員ネットワーク新規登録事業所数	C-2 D-5
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																																																					
地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	4 (1)	5 (2)	5 (3)	5 (4)	5 (5)	5 (5)																																																																					
FCPシート作成支援事業所数	—	5	5	5	5	5																																																																					
伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	—	2 (1)	2 (1)	1 (2)	1 (2)	1 (2)																																																																					
「ニッポンセレクト.com」出品支援	—	3	5	7	8	10																																																																					
100万会員ネットワーク新規登録事業所数	—	2	5	6	7	8																																																																					
項目	目標	実績																																																																									
地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	5 (4)	2 (0)																																																																									
FCPシート作成支援事業所数	5	0																																																																									
伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	1 (2)	1 (0)																																																																									
「ニッポンセレクト.com」出品支援	7	2																																																																									
100万会員ネットワーク新規登録事業所数	6	0																																																																									
項目	評価																																																																										
地域内商談会サプライヤー参加事業所数（成約交渉件数）	B-1 C-6																																																																										
FCPシート作成支援事業所数	B-1 C-3 D-3																																																																										
伝統工芸品展示会出展回数（アンテナショップ設置件数）	B-1 C-3 D-3																																																																										
「ニッポンセレクト.com」出品支援	B-1 C-6																																																																										
100万会員ネットワーク新規登録事業所数	C-2 D-5																																																																										
<p>平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画</p> <p>平成28年度 ・なし</p>																																																																											
<p>平成29年度 前年度までは販売を伴わない出展による商談を中心とした支援を行ってきたが、小規模事業所であることから4日～7日間は店を閉めることにより収入が得られないこと、BtoBだけでなく、土産品として販売していることから、BtoCも考慮し、伝統工芸品・漆器・こけし等に関心のある方が集まる場所への出展場所へ変更、更にその場で直接販売が出来る場所を検討した。</p>																																																																											
<p>○課題・問題点</p> <p>(2) 県内・県外に出店し販売を実施したが、伝統工芸品「鳴子伝統こけし」の事業所は積極的な出店をしていただけない。</p> <p>○改善方法</p> <p>(2) 伝統工芸品（「鳴子漆器」「鳴子伝統こけし」）の製造販売事業所の現状を確認し、効果的な販路開拓支援を図っていきたい。</p>																																																																											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効 果	評 価
<p><u>II. 地域経済の活性化に資する取り組み</u></p> <p>1. 地域活性化事業</p> <p>岩出山地域では、商工会員、会員事業所後継者等による委員会を構成し、大崎市及び南町商店街事業協同組合（商店会）と連携し、「商店街活性化委員会」を計4回開催、今後の商店街活性化の方向性を検討する。また、検討した地域活性化の方向性を踏まえ、伝統的な行事とタイアップしたイベント等の開催、商店街を巻き込んだ地域経済の活性化を図る。</p> <p>鳴子地域では、震災前の賑わいのある商店街形成を進めることを目的に、大崎市、既存の集客施設と連携し、空き店舗を活用した休憩所において観光客への交流空間と観光情報を提供することで、回遊性の向上と滞在時間の延長に繋げ、商店街の活性化を図る。</p> <p>大崎市総合計画の【10年後の望ましい姿】に記述されている、「来訪観光客数が増加し、商店街などへの経済効果が波及している」「集客力が高まり、商店街がにぎわっている」に向け、歴史的建造物や感覚ミュージアム、道の駅など独創的な観光施設資源を有する岩出山地域、日本有数の温泉観光・宿泊地である鳴子地域を回遊させることで、点となる「温泉」「観光施設」が線となり、面的に人の流れを商店街へ向ける上記の取り組みを行うことにより、相乗効果による地域経済の活性化を図る。</p> <p>また、小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業において、地域全体で課題解決に取組み、地域に対する信頼や自信を取り戻し、誇りを醸成させることにより地域経済の活性化を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="168 1161 459 1380" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="526 1161 840 1380" data-label="Image"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span data-bbox="212 1380 414 1412">岩出山春の互市</span> <span data-bbox="571 1380 772 1412">鳴子こけし祭り</span> </p>	<p><u>II. 地域経済の活性化に資する取り組み</u>（担当：遠藤）</p> <p>(1)～(3)</p> <p>【岩出山地域】商店街の活性化へ向けて人を呼び込む方策として、イベント資産の年間活用や学校統合を契機としてとらえた研究会を引き続き開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回－地域の子育て支援と商店街</li> <li>・第2回－先進事例に学ぶ</li> <li>・第3回－アンケート調査結果</li> </ul>	<p>(1)～(3)10月より事業を行った。商店街活性化に向けて、子供及び子育て世代を取込んだアイディア集の作成に至った。今後行政及びまちづくり委員会等で実施したいとの報告もあった。また、イベントを実施し</p>	<p><u>II. 地域経済の活性化に資する取り組み</u></p> <p>【コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩出山鳴子の両地区はSNSの活用が低いように思われます。イベントの集客や販売UPを図るためには、活用者を増やす取組みが効果的だと思います。また、両地域はお互いの連携も不得意のようなので高所の見地に立って商工会が声をかけ続ける必要があると思われます。</li> <li>・(1)～(3)について実施計画内容と実施内容、そして結果の整合性がわかりにくいです。</li> <li>・イベント等の状況変化などによって当初の計画に狂いが生じている点もあるかと思われる。商工会・会員事業者等が主体となった活動が望ましくはある。イベント協力に関してもどのような協力を行ったのかなど、地域経済活性化への寄与度が不明な点がある。</li> </ul>

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																																																																								
<p>(1) 商工会員、会員事業所後継者等による委員会を構成し、大崎市及び南町商店街事業協同組合と連携し、「商店街活性化委員会」を計4回開催し、今後の地域活性化の方向性を検討する。</p> <p>(2) 地域商店街への集客と消費拡大を目的に、南町商店街事業協同組合と連携し、毎年2回の空き店舗を活用したイベントの開催に併せ、お休み処の運営支援を実施する。</p> <p>(3) 南町商店街事業協同組合と連携し、空き店舗を活用したイベントを開催することにより、商店街の賑わいを取り戻し、顧客を取り込むための方策について指導・助言を行う。</p> <p>(4) 年2回の春・秋に開催される岩出山互市と地域の若手で構成され、運営する「ほっかぶり市」と連携することで、伝統ある互市に、新たな要素を加えて、魅力あるイベントとして開催し、集客を図る。</p> <p>(5) 鳴子温泉街への誘客に多大な貢献をしている「全国こけし祭り」と「湯の街ストリートジャズフェスティバル」を実施している大崎市、鳴子温泉物産協会、鳴子温泉旅館組合、鳴子温泉郷観光協会と連携し、集客と地域商店街の活性化に寄与する取り組みを実施する。</p> <p>(6) 鳴子の空き店舗対策事業を行っている鳴子一店逸品研究会（でっぺクラブ）と連携し、無料休憩所「好日館」を核とした集客イベントを実施し、地域商店街の活性化を図る。</p> <p>(7) 岩出山への誘客に資するため、岩出山観光協会、岩出山郷土史俱樂部等と連携し、竹工芸館、旧有備館等への来客数増加を図ることや、地場製品のPR、歴史的観光客の増大を目的とした政宗公まつり、歴史観光かるた・すごろく大会に協賛し、運営支援を実施する。</p> <p>(8) 大崎市、地域内商工団体（古川商工会議所・大崎商工会）と連携し、消費マインドの向上を図り、地域活性化を目的とした割増商品券発行事業を実施する。</p> <p>(9) 大崎市及び地域住民との連携強化を図り、花いっぱい運動、清掃活動を実施することにより、安心安全な環境を作ることにより、地域活性化の根底にある住みよい地域、活力ある地域づくりを図る。</p>	<p>を受け、商店街は親子と繋がりを持てるか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回－研究会のまとめから実現したいこと・方向性、目標・ありたい姿にするためのアイデア</li> </ul> <p>【鳴子地域】交流人口の増加を図る為の効果ある活動の勉強会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回－地域づくりと行政の関わり方</li> <li>・第2回－大間のまちおこしゲリラ活動 いままでとこれから</li> </ul> <p>(4) 連携は行っておらず、単独で実施。出店数、入込客数共に減少している。</p> <p>(5) 全国こけし祭り・湯の街ストリートジャズフェスティバル開催支援</p> <p>(6) 好日館と連携しイベントに協力</p> <p>(7) 政宗公まつりの他、コスプレ甲冑大会への協力支援</p> <p>(8) プレミアム商品券（2割増）発行事業の実施 1セット10,000円を2,000セット完売（岩出山・鳴子） 取扱店募集（岩出山69店・鳴子69店）</p> <p>(9) 花いっぱい運動、清掃活動 岩出山支部女性部・青年部 鳴子支部女性部・青年部で実施</p>	<p>たことで、平日の来店者数及び売上にも反映する結果となった。SNSでの周知は即効性はないが、じわじわと効果が表れたことから継続的なイベント及び周知は集客に効果的であると考えられる。</p> <p>(4)～(7)により商店街の賑わいの創出及び売上創出の機会が図れた。</p> <p>(4) 春の互市 H29. 4. 15 1,200人 H29. 4. 16 800人 秋の互市 H29. 11. 15 1,000人 H29. 11. 16 300人</p> <p>(5) 全国こけし祭り 50,000人（2,000人減） 湯の街ストリートジャズフェスティバル6,500人（1,500人減）</p> <p>(6) 鳴子温泉街スタンプラリー（5・8・11月実施）観光客90名の参加 伊達の黒船太鼓演奏（11月実施）観客午前・午後延べ100名</p> <p>(7) コスプレ大会 15,000人（4,000人増） 政宗公まつり 52,000人（4,000人減）</p>	<p>1-(1)</p> <table border="1" data-bbox="1906 233 2184 309"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>1</td><td>5</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>1-(2)</p> <table border="1" data-bbox="1906 368 2184 445"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p>1-(3)</p> <table border="1" data-bbox="1906 504 2184 580"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>1</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> <p>1-(4)</p> <table border="1" data-bbox="1906 639 2184 716"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td></td><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table> <p>1-(5)</p> <table border="1" data-bbox="1906 775 2184 852"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>1</td><td>5</td><td>1</td><td></td></tr> </table> <p>1-(6)</p> <table border="1" data-bbox="1906 911 2184 987"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>1</td><td>6</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-(7)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1046 2184 1123"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-(8)</p> <table border="1" data-bbox="1906 1182 2184 1259"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>5</td><td>2</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>1-(9) ※未記入1件</p> <table border="1" data-bbox="1906 1318 2184 1394"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td></td><td></td></tr> </table>	A	B	C	D	1	5	1		A	B	C	D	1	4	1	1	A	B	C	D	1	4	1	1	A	B	C	D		2	3	2	A	B	C	D	1	5	1		A	B	C	D	1	6			A	B	C	D	3	4			A	B	C	D	5	2			A	B	C	D	5	1		
A	B	C	D																																																																								
1	5	1																																																																									
A	B	C	D																																																																								
1	4	1	1																																																																								
A	B	C	D																																																																								
1	4	1	1																																																																								
A	B	C	D																																																																								
	2	3	2																																																																								
A	B	C	D																																																																								
1	5	1																																																																									
A	B	C	D																																																																								
1	6																																																																										
A	B	C	D																																																																								
3	4																																																																										
A	B	C	D																																																																								
5	2																																																																										
A	B	C	D																																																																								
5	1																																																																										

経営発達支援事業の内容及び実施期間							実施内容			効果	評価																												
(目標)							<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き店舗活用店舗数</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イベント開催</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>互市来場者数</td> <td>3,300</td> <td>3,300</td> </tr> <tr> <td>鳴子温泉観光客数</td> <td>1,147,000</td> <td>1,041,600</td> </tr> <tr> <td>鳴子温泉宿泊者数</td> <td>428,000</td> <td>371,900</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	空き店舗活用店舗数	1	1	イベント開催	2	2	互市来場者数	3,300	3,300	鳴子温泉観光客数	1,147,000	1,041,600	鳴子温泉宿泊者数	428,000	371,900	(8)大崎市、地域内商工団体との連携し、玉造商工会へも新規加入3件となった。 小規模事業所換金 13,944枚17% (全体) 大規模事業所換金 5,124枚13% (全体) 全体比率16% (9)①国道457号線沿い花壇植栽、②管理、鳴子ダム周辺の清掃、③南町商店街通りの清掃、④湯めぐり広場の清掃により、誘客に係る環境整備を図った。	※ ABCDのいずれかを記入願います  1-(目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き店舗活用店舗数</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> <tr> <td>イベント開催</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> <tr> <td>互市来場者数</td> <td>A-6 B-1</td> </tr> <tr> <td>鳴子温泉観光客数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳴子温泉宿泊者数</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	評価	空き店舗活用店舗数	A-6 B-1	イベント開催	A-6 B-1	互市来場者数	A-6 B-1	鳴子温泉観光客数		鳴子温泉宿泊者数	
項目	目標	実績																																					
空き店舗活用店舗数	1	1																																					
イベント開催	2	2																																					
互市来場者数	3,300	3,300																																					
鳴子温泉観光客数	1,147,000	1,041,600																																					
鳴子温泉宿泊者数	428,000	371,900																																					
項目	評価																																						
空き店舗活用店舗数	A-6 B-1																																						
イベント開催	A-6 B-1																																						
互市来場者数	A-6 B-1																																						
鳴子温泉観光客数																																							
鳴子温泉宿泊者数																																							
項目	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																	
空き店舗活用店舗数	1	1	1	1	1	1																																	
イベント開催	1	2	2	2	2	2																																	
互市来場者数	3,000	3,000	3,300	3,600	3,900	4,300																																	
鳴子温泉観光客数	—	1,135千	1,147千	1,159千	1,171千	1,183千																																	
鳴子温泉宿泊者数	—	417,000	428,000	439,000	450,000	461,000																																	
※参考																																							
項目	22年度	23年度	24年度	25年度																																			
鳴子温泉観光客数	1,152,300	1,033,500	1,057,000	1,123,500																																			
鳴子温泉宿泊者数	457,100	456,100	466,400	406,800																																			
平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画																																							
平成28年度 (1)～(3)南町商店街事業協同組合は自立した事業運営を行えることに至ったことから、新たに、岩出山地域の商店街活性化に伴う研究会を開催する。																																							
平成29年度 (1)～(3)岩出山地域の商店街活性化に伴う研究会の内容を受け、意見交換等実施すると共に、商店街に誘客する方策を検証する。																																							
○課題・問題点 (1)～(3)鳴子地域においても活性化に伴う勉強会を開催しているが、出席者が目的を理解して臨んでいるか。 (5)運営側の人手不足と資金不足があり、支援する側にも負担となる。																																							
○改善方法 (1)～(3)出席者の意見交換を実施し、目的を理解いただいた上で方向性の統一を図る。 (5)イベント規模の見直しを図る。																																							

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価																
<p><u>Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み</u></p> <p>1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</p> <p>(1)大崎市、地区内金融機関との「金融懇談会」を開催し、金融支援に関するノウハウや支援の現状、支援策について各金融機関より支援事例及び支援内容についての情報交換を行い、支援事例が発生した際には、各専門分野を活かした連携支援を図る。また、宮城県商工会連合会主催の経営力向上支援事例発表会等を通じて優れた経営支援事例や経営課題の発掘と対策についての支援ノウハウの共有を図り個別の事業計画の策定に活用していく。</p> <p>(2)創業塾、創業に関するセミナーの開催を中心に創業支援を行っているNPO 法人未来産業創造おおさき（大崎市産業政策課内）と創業希望者への支援計画作成ポイント等のノウハウについて情報交換を行うと共に、大崎市創業支援事業を構成する大崎市内商工団体と連携を深め、地域性を考慮した各地域の主たる支援機関と情報の共有を図り、連携した支援を行う。更に、定期的に支援内容の情報交換を行うとともに、各支援機関共通の企業支援シートを支援事業所毎に作成、支援事業所が持参したシートにそれぞれの支援機関による支援内容を記入することで、情報の共有が図れ、両者共に効率的、効果的な支援が図れる。</p> <p>(3)宮城県商工会連合会と連携し、県内小規模事業者の支援状況、景気動向等について情報交換し、新たな需要の拡大のための促進策等、効果的経営支援方法について検討するとともに、職員全体会を開催し「宮城県よろず支援拠点」コーディネーターを講師に迎え「小規模事業者支援事例研修会」を開催し、宮城県内の支援の内容及びチーム支援ノウハウ、支援の現状について情報交換を行うことで、経営指導員以外の職員においても意識の向上が図れ、支援事例に対する対応にも効果的と考える。</p> <p>2. 経営指導員等の資質向上等に関すること 認定経営革新等支援機関としての意識を高め、宮城県商工会連合会が主催する研修会の参加、古川商工会議所等が主催する「経営セミナー」や</p>	<p><u>Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み（担当：局長）</u></p> <p>(1)金融懇談会の開催は職員の異動があり10月に実施した。金融の融資制度だけでなく商店街の振興策との係わりの中で有効な活用の仕方について各関係団体との商店街の現状と融資状況について情報交換を行った。</p> <p>(2)おおさき創業フォーラム（主催：大崎市と未来産業創造おおさき：平成29年11月22日）への参加勧奨を図った。「企業支援シート」記載による支援はなかったが、創業資金活用について会議所との連携により創業者への支援にあたった。</p> <p>(3)H29年度末専門家派遣実績</p> <table border="1" data-bbox="1055 1038 1480 1291"> <thead> <tr> <th>派遣事業名</th> <th>派遣件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エキスパートバンク</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>伴走型派遣（県連）</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>よろず支援拠点</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>ミラサポ</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>伴走型補助金</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. ①職員研修</p> <table border="1" data-bbox="1055 1329 1480 1449"> <tbody> <tr> <td>開催月日</td> <td>H29. 11. 24</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>宮城学院女子大学教授 宮原育子氏</td> </tr> </tbody> </table>	派遣事業名	派遣件数	エキスパートバンク	13件	伴走型派遣（県連）	3件	よろず支援拠点	14件	ミラサポ	2件	伴走型補助金	2件	開催月日	H29. 11. 24	講師	宮城学院女子大学教授 宮原育子氏	<p>(1)今回開催において、政府系金融機関と民間金融機関がそれぞれの立場で支援の現状を報告し、支援事例の情報提供を積極的に提供して頂いた。金融機関間での融資の棲み分けイメージの共有が図れた。</p> <p>(2)大崎市役所会議室で（株）ゆいネットの稲葉雅子氏による講演。30名（定員50名）の参加者で開催した。玉造地域より2名参加し起業を学んだ。</p> <p>(3)宮城県よろず支援拠点経営相談会（8月より毎月開催：6事業所支援）経営計画作成、パッケージデザインの制作にあたった。</p> <p>2. ①職員研修…インバウンドにおけるSNS、プロモーション支援の</p>	<p><u>Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み</u></p> <p>※ 昨年度の評価委員会により、評価する内容ではないとのことからこれ以降は記載なし</p>
派遣事業名	派遣件数																		
エキスパートバンク	13件																		
伴走型派遣（県連）	3件																		
よろず支援拠点	14件																		
ミラサポ	2件																		
伴走型補助金	2件																		
開催月日	H29. 11. 24																		
講師	宮城学院女子大学教授 宮原育子氏																		

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容		効果	評価								
<p>中小企業大学の主催する研修を経営指導員が受講することで、売上や利益を確保することを重視した支援能力の向上を図る。</p> <p>月1回の経営向上研究会を開催し、宮城県商工会連合会サポーターリーダー等の支援のもと、支援事業者の支援情報を共有し、複数の経営指導員による支援案を作成する等伴走型の支援能力の向上を図る。更に、月1回全職員による全体会議を開催し、全職員が分野毎に連携し支援を行う体制を整える。</p> <p>3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、下記の方法により評価・検証を行う。評価基準は下記の通りとし、①～④を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="114 687 1003 1018"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度</td> <td>支援の方法は適切であったか。親切丁寧に寄り添った伴走型支援であったか。</td> </tr> <tr> <td>貢献度</td> <td>支援の効果はあったか。支援に対してどのように役立ち、その結果は売上げや利益を確保するものであったか。</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td>経営指導員の対応や商工会の提供するサービスについての総合的な評価はどうか。</td> </tr> </tbody> </table> <p>①中小企業診断士、宮城県よろず支援拠点のコーディネーター等の有識者による、評価委員会を新たに設置し、事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。</p> <p>②経営力向上研究会において、評価・見直し方針を決定する。</p> <p>③事業の成果・評価・見直しの結果については、理事会に報告し、承認を受ける。</p> <p>④事業の成果・評価・見直しの結果を玉造商工会のホームページ (<a href="http://www.tamadukuri.miyagi-fsci.or.jp">http://www.tamadukuri.miyagi-fsci.or.jp</a>) で計画期間中公表する。</p>	項目	内容	理解度	支援の方法は適切であったか。親切丁寧に寄り添った伴走型支援であったか。	貢献度	支援の効果はあったか。支援に対してどのように役立ち、その結果は売上げや利益を確保するものであったか。	満足度	経営指導員の対応や商工会の提供するサービスについての総合的な評価はどうか。	研修内容	インバウンド対応に関する支援に活用する職員研修	<p>必要性等学んだ。その後、受入において一番の問題である言葉に対して、観光業を中心とする事業所へ、公庫作成の「多言語対応指差しシート」等を配布し活用頂いている。</p> <p>②需要動向調査項目等を検討し泉マルシェでの調査に活用した。結果は分析後、各商店へフィードバックし、事業計画策定及び事業計画遂行に活用できた。</p>	
	項目	内容										
	理解度	支援の方法は適切であったか。親切丁寧に寄り添った伴走型支援であったか。										
	貢献度	支援の効果はあったか。支援に対してどのように役立ち、その結果は売上げや利益を確保するものであったか。										
満足度	経営指導員の対応や商工会の提供するサービスについての総合的な評価はどうか。											
②経営指導員研修												
開催月日	H29. 8. 31											
講師	(株)SRD アソエイツ 代取 南條晃一氏											
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気観測・需要動向調査(工芸品)の読み取り方</li> <li>・需要動向調査項目</li> <li>・分析結果の管理及び有効な活用</li> </ul>											

経営発達支援事業の内容及び実施期間	実施内容	効果	評価
平成27年度の事業を受け、平成28年度で実施した計画において課題・問題点、改善方法を受け展開した事業計画			
平成28年度	・なし		
平成29年度	2. に対して、観光地である当地の現状を考慮し、全国的な動きを捉えた上で、インバウンドへの支援に対する基礎知識の習得に向けて検討する。		
<p>○課題・問題点  現在、日本人観光客が中心で一部のホテル・旅館でインバウンドの受け入れをしているが、中小の旅館の対応はまだまだできていない。意識の低さが根底にある。</p> <p>○改善方法  目に見える方法で意識の高揚を図る。案内版・施設の表示・チラシのインバウンド対応（英語、中国語、ハングル等）→行政・観光協会との連携を図る。</p>			

### 【まとめ】

1. 地域の経済動向調査及び経営状況の分析については、昨年度評価より良い評価を得ている。個社支援に対する支援を中心に行っていることで、具体的内容を記載していないことから、委員より活用状況や支援による事業所の変化等を記載するようコメントを頂いた。報告書に調査結果を受け、事業所自身が環境変化に対応して、経営戦略を策定できるよう支援を図りたい。
2. 目標の「③地域特産品、伝統工芸品のブランド化を目指した更なる推進と、新たな販路開拓を支援する。」に対し、今年度は販売可能な場所で販路開拓を行った。全国展開支援事業より新たな商品の開発から販路開拓を進めてきた「こけし製造販売事業所」においては、参加勸奨を行ったにも関わらず参加頂けなかった。こけし工人として、製造から販売、更に毎年参加確定しているイベントなど、余裕のない状況にある。これらを踏まえ、地域特産品及び工芸品の生産量等状況を考慮し、販路開拓事業が契機となり、恒常的に販路及び売上の向上が図られる支援が必要と考える。
3. 今年度報告より、効果についての欄に記載したが、委員より実施内容と効果にズレ、最終的な効果等に至る活動が評価対象である項目もあるとのコメントを頂いた。計画開始より3年が経過し、目標としている4項目を主軸とし、調査結果や事業実施後の小規模事業者の反応等により、実施内容の変更は必要不可欠と考える。これらの経緯も含め記載及び説明を行い、目標達成のため事業展開を図る。効果小規模事業者の意識改革など計れない効果もある。
4. 発達支援計画の事業内容を重点的に実施してきたが、なぜこの事業が必要なのか、地域の活性化に繋がるのかを追考し、小規模事業者の支援を図る。